

北海道教育大学教職大学院「SOSの出し方を学ぼう」指導案

「命の教育プロジェクト」チーム

対象学年 小学校高学年から高校生

- 目標
- 困ったときや苦しいときに信頼できる人にSOSを発進する方法を知る。
 - 自分自身が大切だと思ふ自尊感情は、家族や友だち、周りの人たちとの共有体験^{*1}によって培われることを知る。

準備 パソコン、プロジェクター、DVD「つみきのいえ」、学習プリント(プレゼンスライド)

授業展開(50分例)

	内容構成	授業内容	備考
導入	心待ちにしている年賀状 5分	<p>「教師による語り」(5分)</p> <p>T先生には、毎年楽しみにしているある年賀状がある。</p> <p>11年前に札幌市内の中学校で教頭をしていた時、朝練習をしていた女子生徒のAさんが突然倒れた。当時、学校にAEDが設置された関係で、救命講習を受けていた先生方が素速く対応し、病院に搬送された彼女は一命を取り留めた。医師からは先生方の救命措置の知識と技能が命を救ったと褒められた。</p> <p>その後、Aさんはアメリカで移植手術を受け健康を取り戻している。年賀状はそのAさんの家族からのもので、今年は「社会人一年目です」と書き添えられていた。</p> <p>この話は、「他の人の命を救う知識と技能」を私たちが身に付けていることの大切さを象徴する話であることを伝える。</p> <p>そしてもう一つ重要なことは「自分自身の命を守る知識と技能」を持っていること、今日は、その方法として「SOSの出し方」を学びまじょうと訴える。</p>	<p>学習プリントを配布する。</p> <p>導入の話は、「他の人の命を救う知識と技能の大切さ」と共に「自分の命を守る知識と技能の大切さ」について話す。</p> <p>他の題材を用いても良い。</p>
展開	展開1 DVD「つみきのいえ」 ^{*2} 視聴 25分	<p>「つみきのいえ」の一部視聴させる場合</p> <p>①物語前半のストーリーをプレゼンスライドにシーン静止画を入れて概説する。概説(2分)</p> <p>海面の上昇で沈んでいく街。しかし、その土地にこだわり家を積み上げては暮らし続けている一人暮らしの老人が主人公である。住まいは最上階だけが海面の上にある。ある時、彼は床に開けた穴にパイプを落としてしまい、海中に沈んでいった。</p> <p>②DVDの視聴(8分) *視聴後に感想を記入するよう指示する。 〈視聴内容概説〉</p> <p>おじいさんは、潜水服を身に付けパイプを取りに海面下にある沈んだ家に潜っていく。すると、「あっ…」と昔のことが思い出された。3年前に亡くなった妻のこと、わが子と遊ぶ妻と自分、妻に愛を告白した場面、幼なじみの妻と語り合っている自分…潜れば潜るほど過去へ過去へと辿るように思い出がよみがえってくる。物語の最後は、老人が一番上の家に戻ってきて、テーブルに亡き妻の写真を置き、2つ並べたグラスにワインを注いで安らかな表情をしているシーンで終わる。</p> <p>③視聴後の感想記入と発表(13分)</p> <p>感想を記入させた上で、学習者から発言をしてもらう。教師</p>	<p>映像は24分ある。時間の都合で短縮する場合には、落としパイプを拾いに行くシーン前までを概説し、それ以降を視聴させる。</p> <p>視聴後に学習プリントに感想を記入数させる。</p> <p>共感的対話的話し合いを心がける。</p>

	<p>は発言に共感的に応答する。</p> <p>④教師による「共有体験」の話(2分)</p> <p>「共有体験」とは、仲間や家族と経験や感情を共有する体験であり、これは自分がかけがえのない存在であるという自尊感情や自己肯定感を強くすると言われていること。物語の主人公も今は亡き妻や家族との共有体験を思い巡らしたことで、改めて生きている喜びや生き甲斐を取り戻したようだと言ふ。その上で、家族や友だちとの共有体験を日常生活で大切にしたいと訴える。</p>	<p>「共有体験」について説明し、自尊感情を高めることの大切さを理解させる。</p>
展開 2	<p>「SOSの出し方」(15分)</p> <p>①誰もがこころの調子が悪くなることがある—事例紹介—(5分)</p> <p>「朝起きるのがつらい、いつも疲れている」「いろいろなことが上手くいかない、楽しくない」「自信が持てなくなった」等々、誰もが、心の調子が悪くなることを伝える。通常の状態を50とした時に、「テストを受ける」が58点であることを示した上で、「友達と喧嘩する」「大学入試」「失恋」「大きなけがや病気」が何点になるのか、生徒に質問する。生徒から予想を発言をさせた後で、各々が「59点」「65点」「68点」「69点」であることを紹介し、「こころの調子」は日常生活の中で誰でも悪くなる時があると話す。</p> <p>②こころの調子が悪くなった時の対処策(10分)</p> <p>1)「深呼吸」や「運動」、「好きなこと」をする。</p> <p>体を動かしたり、すき誠に没頭したりすること、ストレス回避方法などもあることを伝える。</p> <p>2)「SOSを発信する」</p> <p>一番良い方法は、一人で抱え込み、考え込んだり、苦しんだりせずに「信頼できる人・親しい人」に「相談すること」「SOSを発信すること」が大切だと伝える。</p> <p>保護者、先生、スクールカウンセラー、友だち、周囲にいる信頼できる大人に頼ることの重要性を訴える。公的機関で電話やSNSでの相談を受け付けているところもあることを伝え、相談窓口の一覧表を見させて紹介する。</p> <p>相談を受ける立場になった場合についても触れ、まずは、相談相手の話をじっくり聴いて、その気持ちに寄り添い、心配してあげる対応が肝心であること、必ず適切な相談先(窓口)を紹介することなどを伝える。</p> <p>特に、先生や保護者に相談しにくい場合には、身近に保健師さんがいることを伝える。</p>	<p>「こころの調子が悪くなる」ことは誰にでもある点を抑える。</p> <p>事例の紹介をする。時間がない場合は、質問を省く。</p> <p>ストレスマネジメント</p> <p>一人で悩まないこと信頼できる人に相談すること。信頼できる公的機関への相談、特に身近な保健師さかへの相談を促す。</p>
SOSの出し方 15分		
ま と め	<p>「学んだことをまとめる」(5分)</p> <p>学習プリントの最後にある振り返りカードに学習のまとめを書かせる。*時間があれば何人かに発表をさせる。</p>	<p>学びの確認</p>

*¹ 共有体験とは、他の人たちと共に行動する経験をを通して、肯定的一体的な感情を共有しアイデンティティを形成すること。

*² 加藤久仁生監督の短編アニメーション映画(2008年)で、2009年にアカデミー賞を受賞している。この映像は、「津波の連想」や「喫煙・受動喫煙」の観点から指導上配慮する必要がある。こうした点を配慮した場合『旅立つ日～完全版』(JULEPS、UNIVERSAL J)に収録されているDVD「象の背中」を代替動画として活用することも1つの方法である。